

番号	47	牛石碑		
所在地	伊万里市松浦町 提川 ^{さげのかわ}			
災害別	寛政6年（1794）旱害			
目的別	伝 承	建立年	石碑は寛政6年	
特記事項				



伊万里市松浦町の大陣岳の中腹に牛石と呼ばれる大きな石がある。旱魃の時、この石に木製の角を付け鼻輪をはめて牛の姿にし、三石三斗三升三合の酒を使い三十三斤のスルメをタワシにして洗い清め、雨が降るのを祈ったと伝えられている。実際に昭和14年の旱

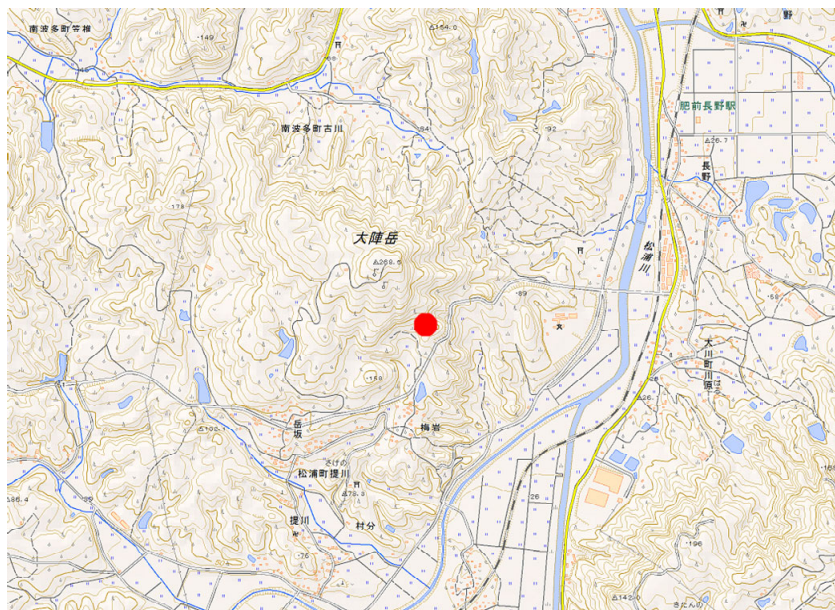


魃の際にも牛洗いの雨乞い行事が行われたということである。牛石のそばには寛政^{きのえとら} 申 寅（寛政6年 1794年）と刻まれた石碑が建てられており、牛石の由緒が記されている。碑文は漢文で書かれているが、読み下し文が「伊万里市の碑文」（伊万里市郷土研究会 平成17年4月1日発行）に掲載されているので引用したい。（原文はカタカナで掲載）

「是松浦縣武雄邑 提川^{さげのかわ}村の野に達磨松と称する有り松下に牛石有り 蓋^{けだ}し其の形を以て名を得たるに似たり俗傳^{ぞくでん}に酒を以て 石を洗い 以て雨を得る可し 今茲^{ここ}に寛政^{きのえとら} 申 寅夏数旬旱し 霽^{うとう}禱するも 及^{すなわち} 応ずる無し 試し

に石をそそ沃ほつぜんげほうはい勃然雲興り滂沛として雨降る 衆庶しゅうしよきんほく筋さくさく扑さくさくして嘖嘖之を牛石と称す 神に因りて堅瓊けんろうに文を鎬こうじ 以て示して忘れず 銘じて曰く 牛に非ず之れ鬼 惟うに石は靈の効なり 至誠感ずる所 頑冥がんめいに徹す可し 本村士庶民協賛 立石 寛政きんのえ甲寅

松浦町には、この牛石のほか、桃川の諏訪神社の「亀石」や中野原上分の「龍石」（未調査）など、雨乞いの伝承が伝わる石が伝えられている。



国土地理院電子国土 Web